

道教組・組合づくりリーフレット②

from us!



## はじめに

### あなたと共感しあった想いを胸に、私たちが運動を創っていきこう！

道教組では2019年5月に「組合づくりリーフレット『With you』」を発行しました。道教組運動に集うたくさんの方の声で、「私たちはなぜ道教組運動に集うのか」「仲間とともに活動するのか」ということを考える冊子です。この冊子はその第2弾です。

「組合づくりに集う仲間として、私たちが共に運動を創っていきたい！」という願いをこめて「from us!」として、運動を創っていく原動力についてまとめました。主な内容は、教職員組合運動へコミュニティ・オーガナイズングに代表される組織論を取り入れることと、教職員組合運動でSNSを活用するための具体化です。

この一冊が、これまで長い間大切にされてきた教職員組合運動の原則と、情報がめまぐるしく流れるいまの時代に情報戦に打って出ること、組合の存在意義を改めて確かめ合うことのふたつを結び付けるものになることを願っています。

2020年2月 全北海道教職員組合

## もくじ

### はじめに

私たちは、教職員組合運動に集う「仲間」をふやしていく。-----2  
SNSにはふたつの向きがある。-----3

### 第1章 教職員組合を愉しく、わかりやすく！

「さあ、今だよ」ってみんなで思えるために…。-----5  
教職員組合運動を、わかりやすく…。-----6  
教職員組合運動を、魅せる！-----7  
手のひらに教職員組合を！-----8  
教職員組合の存在感を生み出す。-----11

### 第2章 オープンなSNSを活用して教職員組合を魅せていく

基本は「会って話すこと」-----13  
Twitterでまだ見ぬあなたとの力合わせを。-----15  
Twitterをはじめよう。-----16  
フォローして、フォローしてもらおう！-----18  
ツイートしてみよう！-----19  
リプライ・リツイートしてみよう！-----20  
Facebookをはじめよう！-----21  
教職員組合としてFacebookページをはじめよう！-----24  
Facebookグループに参加しよう！-----25  
Facebookメッセージャーを活用しよう！-----26

### 第3章 教職員組合の仲間がアプリでつながる可能性

教職員組合が独自にアプリを持つことの可能性。-----29

### 第4章 おわりに…

受信したあとの「アナログ」なつながりを…-----33  
SNSを片手にボタンゾーンをいっしょに走ろう！-----34

# 1

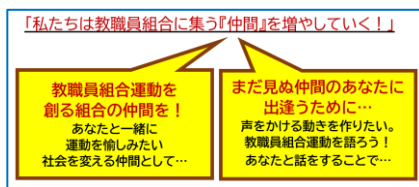
## 私たちは、教職員組合運動に集う「仲間」をふやしていく。

スマートフォンが普及して10年くらいの年月が経ちます。スマホの普及と同時に様々な「アプリ」が発展してきました。アプリの中で「誰かと会話をする機能を持つもの」を「SNS<sup>1</sup>」といいます。ひとことでSNSといっても、ホームページのように誰でも見られる状態のもの（オープンな状態にあるもの…とします）と、会員制のホームページやメーリングリストのように、登録した人だけが見られるようにしているもの（クローズな状態にあるもの…とします）があります。

この冊子では、教職員組合運動に仲間が集うためにSNSを活用することの可能性についてまとめていきます。

### 私たちは「仲間」を増やしていく

道教組運動における、いわゆる「組織強化・組織拡大」の方針として、「私たちは教職員組合に集う『仲間』を増やしていく」ということを掲げてきました。この仲間には「ふたつの意味」があります。



ひとつは、すでに組合に加入している「仲間」。教職員組合に集う私たちが、共に教職員組合をひっぱり仲間になっていくのです。組合は【道教組－単組－支部－分会（本人）<sup>2</sup>】というように情報が伝達していきます。単組や支部は情報を中継する役割を担うことが多く、そこが負担になるという声を聞くことがあります。その壁を乗り越えて「運動をひっぱり仲間」を増やしていきたいのです。

もうひとつは、教職員組合にはまだ集っていない新たな「仲間」を迎えるということ。「ひとりでも要求をかけられる時代」だとしても、職員団体としての教職員組合の役割は大きいということはこの冊子を読んでくださっているみなさんとは共有できるはず。その「教職員組合」って大事だよ…ということを発信していくことを大切にしていきたいのです。

<sup>1</sup> SNSは、ソーシャルネットワーキングサービスの略で、登録された利用者同士が交流できるWebサイトの会員制サービスのことで。友人同士や、同じ趣味を持つ人同士が集まったり、近隣地域の住民が集まったりと、ある程度閉ざされた世界にすることで、密接な利用者間のコミュニケーションを可能にしています。／総務省「国民のための情報セキュリティサイト」[www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/joho\\_tsusin/security/basic/service/07.html](http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/security/basic/service/07.html)

<sup>2</sup> 「各級段階」ということします。詳しくは6ページ参照。

# 2

## ベクトル SNSにはふたつの向きがある。

ひとことでSNSといっても、いろいろな種類があることは2ページでも少しだけ触れました。教職員組合運動を進めるにあたって、「オープン（外向き）なSNS」と「クローズ（内向き）なSNS」を上手に使い分けていくことが大切です。

### 「オープンなSNS」…Twitter、Facebook など

教職員組合という存在を知ってもらうためだったり、私たちが大切にしたい教育条理を街頭宣伝するようなイメージで活用できるのが「オープンなSNS」です。この冊子では、Twitter と Facebook での具体例をもとに紹介していきます。

### 「クローズなSNS」…LINEやFacebookメッセンジャー、Facebookグループ

例えば教職員組合の部内報のように、「組合の『中』だけで共有したい」という情報があります。また、物理的な距離が離れていてなかなか交流できない仲間をつなげる手法として「青年部がLINEグループを活用している」などの先行事例が聞かれます。「クローズなSNS」は学校に導入されている「校務支援システム」をスマートフォン用のアプリにしたようなイメージ。教職員組合としてスマホアプリを持つことも可能性としてはあっていいのではないのでしょうか。➔29ページ参照



Instagram  
Instagram



Twitter  
Twitter



オープンなSNS  
街頭で機関紙を配るイメージ



Facebook  
メッセンジャー



LINE  
LINE



最近、企業や団体向けにアプリを販売しているサービスもある。

クローズなSNS  
組合内のFAXやメーリングリストのような活用のイメージ



Facebook  
Facebook

Facebook には「ページ」「グループ」など外向き・内向きに対応した機能がある。

# 第1章 教職員組合を 愉しく、わかりやすく！

---

まずは、  
「教職員組合運動をみんなで創っていく」  
ということを考えてみましょう！

# 3

## 「さあ、今だよ」ってみんなで思えるために…。

### 私たちが進めてきた「対話」による運動づくり

私たちの先輩が築いてきた教職員組合運動の財産の中に「対話」があります。

教職員組合として方針を持ち、教育関係者と対話をしながら力合わせを進めていくことや、世論が少しずつではじめたところで組合に集う先生方による学習が追い付き、署名活動や議会請願を通してより世論を広範なものにしていくことなど「原則」を確かめ合い、時期や情勢を見定めながら方針や方向性を確かめてきたのです。また、運動をすすめるにあたって「学習交流集会」のような集まりを行う場合には、機関紙やチラシで情宣をしながら、各級段階でクチコミによって運動の必要性を説きながら参加者を組織化したりするものです。こうして私たちが進めてきた教職員組合運動は「対話」を武器に進められてきたことは改めて言うまでもありません。

### 対話とは、わたしがあなたと「今だよ」って語ること

コミュニティ・オーガナイズング・ジャパンによるワークショップによれば、対話を通して「そうかもしれない、この人と一緒にやってみようかな」と思えるためには「①こちらが自分自身の経験を語ること、②共に共感できる課題意識があること、③『さあ、今だよ！』と共に思えること」が必要だと言われています。こうすることで対話の輪が広がり、ひとりひとりが「教職員組合運動を『ひっぱる側』」になることで、運動は急速に広がっていくのです。

**ヒント!**



#### コミュニティ・オーガナイズング(CO)

コミュニティ・オーガナイズングは、20世紀(1900年代)初頭にアメリカでの実践から生まれたものです。これを体系化したり本に書いたりまとめている団体は複数あり、コミュニティ・オーガナイズング・ジャパン(COJ)はそのひとつです。この冊子の中でここまで何度か紹介しているCOJは、マーシャル・ガンツという方によって体系化された**市民の力で社会を変えていくための手法**です。教職員組合運動でよく使う「戦術」に、相手意識や聞いた人が行動しようと思うような「私たちこそ、いま動き出そう」と共感できる対話を盛り込むことが、運動を強くたくましくする「戦略」になる…など教職員組合運動を進める上でのヒントがたくさんあります。

くわしくはコミュニティ・オーガナイズング・ジャパンのホームページを!  
<http://communityorganizing.jp>



# 4

## 教職員組合運動を、わかりやすく…。

教職員組合運動には「専門用語」のようなものはいくつもあります。ずっと昔から受け継がれてきた『いま』も『むかし』も変わらないもの」です。その中のひとつに、「各級段階」があります。「道教組－各単組－支部－分会－組合員本人」というのがオーソドックスで現在までこの形が継承されています。

### 教職員組合運動は、口承文化？

北海道のある若い先生が分会長になったときのこと。春の学校づくりの懇談資料を校長先生に出す際に組合の専門用語である「理解と納得」という言葉の意味がピンとこなくて、この先生はインターネットで検索したそうです。教職員組合運動は「口承文化」の側面が強く、体感的に語り継がれてきた要素が強くあります。

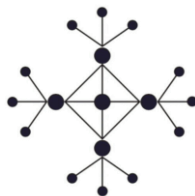
この若い分会長さんはなんらかの事情があって、近くの組合の先生に『これってどういう意味なんですか？』って聞けなかったのでしょうか。このことは、大きな困難性の壁といえます。こうした困難性をどう取り除くのかということも、考えていかなければならないでしょう。

また、「口承文化」というのは、経験則や直感に頼ることになりがちです。例えば組織拡大のときに「とにかく声をかけよう」とか「勇気をだして粘り強く取り組もう」ということでは、結局何をどうすべきかわかりません。私たちが受けついできたものは理論的に言えばどういうことなのかということを整理する必要があります。そしてその上で、私たちが持っている力は何かを確かめ合いながら、どんな困難性があるかをすべきかを明確にしていくことが大事なのです<sup>3</sup>。



### リーダーシップとは学び続けること

リーダーシップとは「学び続けること」ということができそうです。学んで発信して関わり合っ…ということです。教職員組合運動で長い間体現され続けてきた「組織する」ということをみんなができるようになるイメージです。COJではこれを雪の結晶のように運動が広がる「スノーフレイクリーダーシップ」として図のように説明しています。



<sup>3</sup> コミュニティ・オーガナイズング・ワークショップ 参加者ガイド 第15版

# 5

## 教職員組合運動を、魅せる！

### 魅せるとは、デザインすること

街角で目にするフリーペーパーや、道の駅などで目にするおみやげの中には「あ、これ手にとってみたい」と思うかどうかの瞬間に手が伸びている…みたいなものがよくあります。ここに隠れているのは「デザイン」です。私たちが教職員組合を進めるうえで、早急に身につけていかなければならない考え方といえるでしょう。

SNSの活用は「映え」が求められることから、運動を進めながらデザイン力を高めていくこととなります。

### 道教組の取り組みとSNS



ヒント!

道教組では2019年8月からTwitterとFacebookを発信のツールとして活用することにしました。きっかけは「道労連定期大会」です。

全労連では、2019年に「労働組合もツイッター上に登場することが重要になっている」として「労働組合活動におけるSNS活用のススメ<sup>4</sup>」という小冊子を発行しています。

ここにヒントを得て、道教組ではTwitterでの発信をはじめました。12月の変形労働時間制反対の街頭宣伝にはたくさんのリアクションがありました。途中で宣伝の場所がほかの団体の街頭宣伝と重なっていることをTwitterを通して知らせてくれた市民の方がいました。そして宣伝の場所を訂正するツイート(書き込み)は瞬間に広がりを見せました。

▶全労連  
「SNS活用のススメ」



<sup>4</sup> [http://www.zenroren.gr.jp/housei/data/2019/190128\\_01.pdf](http://www.zenroren.gr.jp/housei/data/2019/190128_01.pdf)



# 6

## 手のひらに教職員組合を！

「誰かに連絡を取りたい」と思った時や「この情報を知ってほしい」というときには、様々な方法があります。教職員組合運動の歴史では、街頭宣伝、署名、職場にある「組合掲示板」などによる人海戦術や口承文化によるものが大きいものでした。

### 誰でも発信できる時代だから

一方で、インターネットの発達により誰もが要求を掲げたり行動を共にする仲間をつくるのが可能な時代を迎えています。2015年の「戦争したくなくてふるえる」デモや、最近ではTwitterでの呼びかけによる「英語民間試験の大学試験への活用中止を求めるスタンディング」へ一般の方が参加するなど、要求を具現化する行動は多種多様になってきていて、必ずしも「労組へ加入して団結！」という時代ではなくなってきているのかもしれない。



### 戦術に想いを込める手立てとして…

社会が混迷を極め、教員でいえば多忙化に拍車がかかる中で、教職員組合運動として活躍できるチャンスがたくさんあるはずですが、しかし、現状は「圧倒的な戦略不足」と言わなければならないのかもしれない<sup>5</sup>。

教職員組合が運動論の中でよく使う「戦術」は課題意識や情勢と、それに対する方針が語られることを指すことが多いです。しかし、それだけでは広く大勢の心を動かす運動になりません。「なぜ、私はこれに取り組むのか」「あなたとどんな未来を作りたいのか」ということを語り、共に力合わせを進めるための「戦略」にしていくなることが必要です。教職員組合ですからその場面は機関会議など組織的であるべきですが、同時に日常的にこうした思いの共有ができることが理想的なのです。そこで、多くの人が使っているSNSを積極的に活用し「あなたといっしょに教職員組合運動を創っていく」ということをみんなで進めていく必要があるのです。

<sup>5</sup> 労働組合は圧倒的に戦略不足…『『政治を変えなければいけない』は、『政治が変わらないと変えられない』と言っているようなもの。『選挙で勝てない』を社会運動で変化が勝ち取れないことの『免罪符』にしてしまっていないか』…2019年10月上川教組主催「トラブルメーカー・スクール・ワークショップ」より

## 教職員組合運動と、伝達手段

教職員組合運動と各種連絡手段については、年代や日ごろから使うツール（パソコンなのか、スマホなのか…など）によって印象は変わってくる部分がありますが、次のようにまとめることができます。

	ツール	取り組まれ方	メリット	デメリット
限られた関係性での情報伝達	電話	参加者の組織化や人事などプライバシーに関するについてはやっぱり電話が有効。	会えなくても声で意思疎通ができる。	時間が限られる 苦手意識を持つ人も
	手紙	依頼をする際などにはやっぱり大事。	丁寧なやり取りに最適	時間と丁寧さが必要。字が汚いと印象が悪い。
	FAX	パソコンに依存できない文書の送信には一定程度役割を發揮している。	FAX番号がわかれば送信可能。	北海道の場合、組合では使えない。
	メール	個別のやり取りでは一番使われている？	アドレスがわかっていれば気軽に送れる。ファイルを添付できる。	1対1対応になる。
	一斉メール	組合活動の十八番になっている。	費用もかからず、実効性が高い。ファイルを添付できる。	返信が1対1対応になる。リアクションが少ない。
開かれた関係性の情報伝達（1対1も可能）	LINE	多くの方がスマホにインストールしている。チャット形式で会話できる。	若い世代を中心に利用者が多い。	登録が必要。返信が1対1対応になる。世代によって敬遠しがち。パソコンでもできるがスマホが便利。
	Facebook	組合の取り組みを組合内外に発信することができる。	方針や思いが同じ人がつながりやすい。メッセージ機能がある。	登録が必要。世代によって敬遠しがち。氏名登録が必要。見るのが億劫。
	LINEグループ Facebook メッセージ	LINEやFacebookの機能のひとつ。チャット形式で複数人での会話が可能。	複数人で会話できるため新しいアイデアが生まれることも。	アプリ利用者に限られる。大人数で会話をするとう話ぐがぶれたり混線する。通知がうとうしい。ガラケーでは厳しい。
	Twitter	140文字でつぶやく。利用者が多く反響が多い。	発信力が強くリアクションがある。	登録が必要。論争に巻き込まれることもある。

### 「みんなの意見間かせて」をSNSで…



ヒント!

上の表は、この冊子を編集している中で「みんなはどう考えているかな」と疑問や不安をもったときに、Facebookで全道・全国の仲間に意見を求めて加筆修正したものです。教職員組合運動はややもすると、孤独になったり不安になったりするものです。炉辺談話という言葉があります。職場づくりの組織化のひとつとして語られることが多いですね。SNSも同じなんだと思います。「組合づくりを耕していくアイテム」とみんなが思えばいいなあと思います。

## コミュニティ・オーガナイズングの考え方を組合づくりに生かす！

2019年、道教組内ではコミュニティ・オーガナイズング（CO）の手法に関心が高まり、道教組役員や各単組役員がフルワークショップに参加しCOについて学んでいます。秋以降はこうして学んだCOの手法を、教職員組合運動の本質に当てはめて道教組単組代表者会議や各単組主催の組合づくり学習会で多くの方と学び合いました。学習会では主に次のような学び合いをしています。

### コーチング

- ・1対1で、その人が直面している困難を共有する。
- ・自由回答形式と「言い換え」で内容を豊かにしていく。
- ・対話を通して直面する課題の困難性を明らかにする。

例：あなたが教職員組合運動で取り組んでいるチャレンジや困難はどんなことですか。

なかなか大事にしたい運動が組合の仲間に伝わっていかないところです。

それは、どんなときに感じますか？

炉辺談話などによる語り合いと違うのは、戦略・動機・手法のどこに困難性があるかを自由回答形式で明らかにすることです。質問を通した対話を通して現状を共有する手法は、教職員組合運動の様々な場面で活用できます。

### 学習会感想より

2人組で質問したり聞き手になったりすることで、改めて自分の職場のこと、組合のこと（取り組み方など）を考えるきっかけになりました。

### パブリック・ナラティブ

- ◆自分を突き動かす**価値観**は、これまでの人生のどの部分によるのか。
- ◆聞き手と自分自身が共有する価値観や経験を、**私たちのストーリー**として語ることで**一体感**を作り出す。
- ◆「今しなければ社会は変わらない、いつするのか」とアクションを促し**共に行動する**仲間を増やしていく。

価値観が感情を介して伝わりると人は**行動**したくなる。



COJでは、やることを提起するだけでは人は動かず、感情に訴えることが大事だという考え方をします。「なぜ世界を変えるのか、どのように行動するのか。」と共感しあう手法がパブリック・ナラティブです。

### 戦略を持ってキャンペーンに取り組む

当事者（組合員・労働者）などの持つ「資源」（知識・スキル・個性など）を「パワー」に変え「変化」を起こすこと。



1. いつ、
2. どこで、
3. 何をするか、
4. 仲間を何人集め、
5. そこから何人が次のアクションに加わるか

課題を解決したい人たちが、自らの資源を集めて、変化を起こすために必要なパワー（能力）をつくり出す。

今後は、組合用語でいう「仲間を組織して要求実現運動に取り組む」ということの理論的な整理と実践的なワークショップができるよう道教組としての学習資料の研究にも取り組みます。全道・全国のみならずと教職員組合運動について考え、共に運動を創りたいと考えています。

# 7

## 教職員組合の存在感を生み出す。

### 「対話」を基本に、 訴求力を発揮していく。

9 ページでは、各種ツールの運用のあり方やメリット・デメリットについてまとめました。ここでは、各種ツールの拡散力と訴求力について考えてます。

ここでいう、「拡散力」とは、『どれだけたくさんの人に届けられるか』。「訴求力」とは、『情報を受け取った人が「そうだよね、と思う影響力』ということにします。

教職員組合運動において一番強いのが手紙・電話と言えるでしょう。訴求力の点では一番ですが、同時に組織化できる人数（＝拡散力）には限界があり、労力が莫大にかかります。1対1対応となるメールやLINEはいわゆる「既読スルー」が起こったりする点でいうと手軽であるものの訴求力に弱さがあるでしょう。組織化の基本は対話です。そのうえで、教職員組合運動をつなぎ、語り合い、前へ進めていくためにはパーソナルで気軽に発信しあえる仕組みが必要です。上の図で言えば、「スマホアプリによるSNSの活用」はちょうどFAXとTwitter／手紙・電話の間にあるもののような位置づけになります。

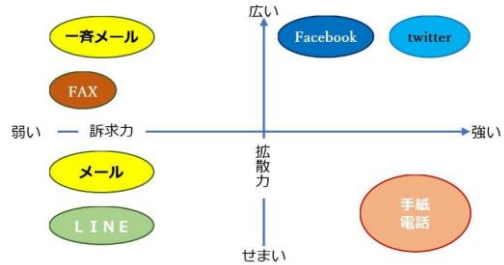


図6 教職員組合が持つ情報ツールの拡散力と訴求力  
(宗谷教組機関会議での議論をもとに作成)

### 訴求力を高める会議だってあるじゃない！

ここでいう「訴求力」とは、情報を受け取った側の人が「そうだよね。自分も動かなきゃ」と思うかどうかということです。教職員組合運動は、機関決定に基づき各級段階で運動を進めます。そこでは「いつまでにこれして、要求をこんなふうを実現して…」というように「出来事」で語られます。

SNSか会議かということをお問はず、大事なのはそこに「想い」があるかどうかということです。「そうだよね。自分も動かなきゃ」と思うときには感情が揺さぶられるといいます。COJでは、感情に訴える手法をパブリック・ナラティブとしてワークショップ形式で戦略を練っていきます。教職員組合運動にも取り入れていきたいですね。



## 第2章 オープンなSNSを活用して 教職員組合を魅せていく

---

基本は、  
会って話すこと！  
そして、それを補うために  
Twitter・Facebookを活用しよう！

# 8

## 基本は「会って話すこと」

### 大前提は「リアルに出逢えるため」の SNS

教職員組合は機関決定により運動を行います。その運動の具体化に各級段階での様々な工夫や苦勞を伴った活動があって、そこに教訓が生まれます。こうした職場・分会や市町村・支部による活動は教職員組合本体の機関決定をもとに年次大会などで決定されるのが一般的です。

一方で、教職員組合本体とそれ以下の各級段階の間には信頼関係があるため相互に活動を尊重し合う関係にあるのが一般的ではないでしょうか。

教職員組合が SNS を使う際に「セクツ的になる」という指摘を受けることがあります。SNS を使う人と使わない人の間に情報格差が生まれてしまうことに対する危惧の声です。では、ストーブのまわりや喫煙所で行われている炉辺談話はどうでしょう。これらを「セクツ的」という指摘はあまり聞いたことがありません。



教職員組合が SNS を使う最大のねらいは「実際に出逢えるため」です。「新たな仲間」と出逢うためのツールとしての Twitter・Facebook の活用、そして「組合に集う仲間、ひっぱり仲間をつなげる」ために組合内 SNS の活用です。

教職員組合運動の根幹は「会って話をすること」です。しかし、忙しいとか距離がとか予算が…とか様々な理由で会って話すことは容易ではありません。おのずと教職員組合運動が見えにくくなってしまいます。この状況を手放しで見ているわけにはいかないので、SNS を活用していきたいということです。

### 手のひらで教職員組合運動を実感していく

外向きの発信は教職員組合運動を牽引するリーダー（本部役員・単組役員など）が担うことになるでしょう。Twitter や Facebook を活用して教職員組合運動を見えるように、魅せるようにしていきたいものです。また、その発信を拡散するにはたくさんの方のリアクションが必要です。そこには組合に集う仲間の力が必要になるのです。そうして教職員組合運動は広く現代の時代の中で存在感を増していくことができます。

## 「あたり前」を理論化していく



COJのワークショップでは、教職員組合運動の実際をイメージしながら、私たちが願う世の中にするために仲間の感情をどのように揺さぶり共に行動するきっかけを作れるか…という「手法」を学びます。

この「感情を揺さぶる」ということについて、実際にワークショップを受けた方が次のように話してくれました。

元来、人見知りワークショップ形式の学習会が苦手で、できるだけ避けてきました。でも、勇気を出して学んでみたら、直感が確信に変わるのがおもしろいのがんばることができました。例えば誰かに「組合に入ってほしい」というときに、どんなことに気を付けて話せばいいかとか、運動をどんなふうに組み立てていくかということがすっきりしました。難しいけど、鍛えて身につけていきたいと思いました。

私は組織拡大を無意識にできるみたいで、「どうやって組織拡大するんですか？」って聞かれても自分でも意識していないからうまく説明できませんでした。でも、自分がやっていることには理論的な裏付があることがわかって、すっきりしました。こうして組合がやってきたことを再認識することは大事だなあと思いました。

教職員組合運動を未来に向かってどうしようか？——と問われたら、多くの人は「私たちの先輩の時代から受け継がれてきた大事なもの。だからどうにかしたい」と言ってくれるでしょう。しかし、その「どうにかしたい」には具体的な手立てと、仲間をその気にさせるきっかけが必要です。

例えば、コミュニティ・オーガナイズングをみんなで学んでみるとか、この冊子を手掛かりにみんなでSNSについて考えてみるとかということもあるでしょう。そうして、組合に集うみんなが「ひっぱる側」になっていくことが大事だと思いませんか？



ここまでCOJのワークショップに参加した方の声をもとにまとめました。もっと知りたい方はCOJのホームページやコミュニティ・オーガナイズングに関する書籍をご覧ください！

# 9

## Twitterでまだ見ぬあなたとの力合わせを。

### 大通公園での街頭宣伝を手のひらで

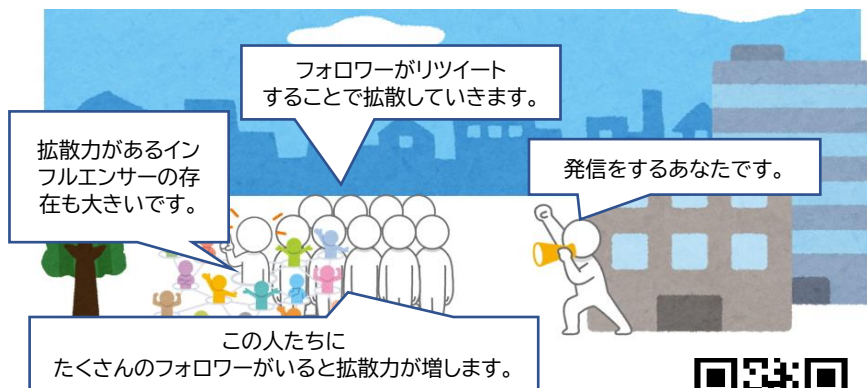
Twitterは、広くたくさんの方々につながる手段です。たとえて言うと、大通公園で街頭宣伝や、要求を掲げてパレードをするような感じ。ただ、大きく違うのはパレードをするには警察に手数料を払って道路使用許可申請を出し、参加者を組織する必要がありますが、Twitterは手のひらで気軽にいつでも「つぶやく」ことで大きく「宣伝」ができるのです。

### たくさんの人に拡散するためには…？

一生懸命に「ツイート」をしても、見てくれる誰かに届かないことには拡散力は得られません。たくさんの人に効果的に拡散をするためには、大勢のフォロワーがいるユーザーにリツイートしてもらうのが近道です。

だから、単組役員などが発信すればいいだけ…というわけではないのです。たくさんの方が教職員組合のTwitterによる発信をフォロー（閲覧）し、自分のまわりの人たちにTwitterを使いながら拡散していくことも大事な発信です。

### Twitterってこんな感じ



※Twitterの用語解説は18ページで！

▶これだけだとわかりにくいので、動画で説明します！





# 10 Twitterをはじめよう。

ここからは、スマートフォンのTwitterアプリを使ってアカウントを作成し、実際に使ってみることを想定して説明をします。

## プロフィール画像 → 5

## 名前とユーザー名

名前はあだ名(ニックネーム)のようなもの。他と同じものでも登録できます。ユーザー名はIDみたいなもの。同一のものは設定できません。ログイン際に使用します。

→名前のことをここでは「アカウント名」ということにします。④名前の設定  
→「ユーザー名」の変更はP20参照。

## 自己紹介 → 6

## タイムライン

自分やフォローしているユーザーのツイートが表示される場所。



## 1 まずは、アプリをダウンロード



android



iPhone

使わないQRコードを手で隠すとうまく撮れます。

## 2 アカウントを作成します。



### 3 認証コードを入力しよう。

「2」で電話番号を入力した場合はショートメールで、メールアドレスを入力した場合はそのアドレスに「認証コード」が届きます。この画面にそのコードを入力します。

### 4 パスワードを決めよう。

パスワードを英数字6文字以上で決めます。

パスワードは半角英数字で設定します。10文字以上で、大文字・小文字と数字が混ざっていると安全だと言われています。辞書にある一般的な言葉（「password」や「iloveyou」など）、ひと続きの文字列（「abcd1234」など）や、キーボード上で連続する文字列（「qwerty」など）をパスワードにしないのが安全です。

わたしのパスワード備忘録

### 5 プロフィール画像を選ぼう。

カメラマークをタップするとご自身のスマートフォンの写真フォルダが移ります(アクセスすることへの許可を求められる場合があります)。入力します。

「今ほしくない」が左下にある項目は、あとから設定画面で変更ができます。Twitter の仕組みを理解してから立ち着いて設定するといいです。

### 6 自己紹介の文章を入力。

自分のページのさいしょに書かれる内容です。わかる人にはわかる程度の範囲で書くのがいいでしょう。

### 7 【重要!!】連絡先の同期

「連絡先を同期」とは、『Twitter アプリがスマートフォンの電話帳にアクセスして、電話番号などを照会する』という意味です。その結果を用いて、Twitter を利用している相手を検索することを許可するかどうかを問いかけているのがこの画面です。

この設定は後から変更ができます。慣れない間は同期しないほうがいいので「今ほしくない」を選ぶことをおすすめします。

Hit!

### 8 Twitter のアンケートに答える。

# 11

## フォローして、フォローしてもらおう！

Twitterをはじめただけでは、街頭宣伝に立ったはいけど、誰も話を聞いてくれないのと同じです。フォロワーを増やすことで「聞いてくれる人」が増え、発信力が増していきます。



### 1 フォローしよう！

Twitterには、「フォローしてくれた人にはフォローをしてお返しをする」という文化があります。まず、あなたが気になる人を「フォローする」ことが必要です。そうして少しずつフォロワーを増やしていきましょう。

「たくさんのフォロワーとつながっている人」にフォローしてもらおうと、拡散力が増します。

ぜひ、積極的にいろんな人をフォローしてみましょう。まずは、道教組のTwitterをフォローしてください！



Twitter「道教組」  
【@dokyoso】はこちら！

ヒント！



#### フォロー・フォロワー

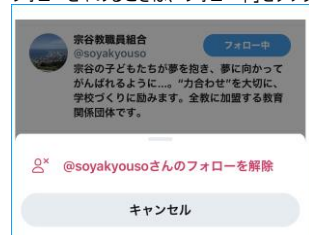
フォローすると相手のツイートが自分のタイムラインに流れます。反対に自分をフォローしているユーザーをフォロワーといいます。

#### リツイート(RT)

ツイートを自分のフォロワーに拡散する機能。Twitterで話題になるときは、この機能によって拡散されます。



フォローをやめるときは、「フォロー中」をタップ



# 12 ツイートしてみよう！

## 1 140字でまとめてみよう！

ツイッターは一度の投稿で140字まで書くことができます（半角だと280字まで）。一般的には最後にハッシュタグを入れる場合が多いので、100文字程度でまとめるのがよさそうです。



## ツイートの例

■■教組としてTwitterでの発信を開始しました。本部執行部のメンバーで交代して発信します。機関紙を発信したり、最新の取り組みをお知らせしていきます。■月▼日には教育連続講座もありすまよ！詳しくはホームページをごらんください。

#教職員組合 #せんせいの働き方

<http://www.hogehoge.net>



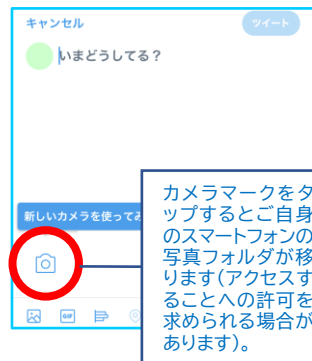
これが、最近よく聞く「ハッシュタグ」

この例で138文字です。

意外と内容を盛り込めます。

## 2 画像を挿入してみよう。

実際のツイートには画像を入れると効果的です。カメラマークの右側に画像が並んでいる場合はそこから、表示されないときには左下の写真のイラストをクリックしてカメラロールから設定します。一度に4枚までの画像を添付することができます。



## 3 ハッシュタグを使いこなそう！

ハッシュタグ（半角の#記号）は、Twitterでキーワードやトピックを分類するために使われます。この機能を使えば興味のあるトピックを簡単にフォローできます。

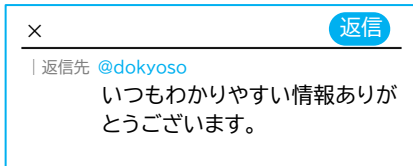
- ハッシュタグにはスペースや句読点を含めることはできません。これらを含めると、正常に機能しなくなります。
- ツイートには好きなだけハッシュタグを使えますが、1つのツイートに使うハッシュタグは2つまでにすることをおすすめします。

# 13

## リプライ・リツイートしてみよう

### 1 リプライしてみよう！

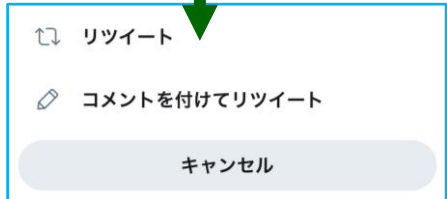
リプライとは、「返信」という意味で、ツイートに対してコメントをつける機能です。インターネットの掲示板に感想を書くのと似ていますね。



相手のタイムラインに掲載されます。教職員組合運動では取り組みに対する励みになりますね！

### 2 リツイートしてみよう！

拡散したいツイートは、リツイートすることで、自分のタイムラインに表示できます。そして、それを誰かがリツイートすることで、情報は拡散していきます。



Twitter の基本的な使い方をご紹介しました。例えば、「通知が気になる」とか「自分の登録情報が気になる」、「ユーザー名を変えたい」という場合は【設定とプライバシー】から確認・変更ができます。

この冊子でまずはTwitterに興味をもっていただき、教職員組合に集う若い方とベテランの方が「SNS講座」などに集い合えたら、それは素敵なことだと思います。



# 14 Facebookをはじめよう！

## 上手に「魅せる」手段として…

Facebook は、まとまった文章と写真で課題意識や主張を表明するのに便利なツールです。Twitter が街頭宣伝だとすれば、Facebook には機関紙のような役割を持たせることができます。Facebook や Instagram では、「よく映える写真だね」というような意味の「映え」という概念があります。写真や図を活用して上手に「魅せる」ことを意識したいものです。



android



iPhone

## 1 Facebookをはじめてみよう。

まずは、「姓・名」「携帯電話番号もしくはメールアドレス」「パスワード」「誕生日」「性別」を入力して【アカウント登録】をクリックします。すぐに携帯電話番号へのショートメールかメールアドレスへ認証コードが届きます。



Facebookは実名での登録が必須になっています。その分、2000年代後半からビジネスシーンで重宝されてきたSNSのひとつです。Twitterに比べて「炎上」が少なく、現実の友人・知人との交友関係が広がりやすい特徴があります。

## 2 ようこそ画面から登録しよう。

### (1) プロフィール画像

【写真を選択】をクリックすると写真フォルダが表示されます。ほかの人から見て「あ、あなただ」とわかるような写真がいいですね。

### (2) 知り合いを検索

同じ組合で Facebook をしている人や、すでに教職員組合として Facebook を運用している組織を検索してみましょう。



### 3 プロフィールを設定しよう。

アプリでは指示に従う形でプロフィールを設定できます。パソコンでは【ホーム】を押して右のような画面にすると、順番に設定ができるようになっていきます。

#### 【プロフィール画像】

21ページの②で設定しましたね。ここに表示されます。

#### 【居住地を入力】

「北海道」とか「北海道稚内市」など。意外とFacebookには同姓同名がわんさかいます。『自分だ』とわかってもらえる程度に書くといいでしょう。

#### 【出身地／学校／大学／会社を追加】

各設定は、スキップ(とばす)することもできます。「会社」は教員の場合は「小学校教員」とか「北海道公立学校教員」とかにするのもあります。



#### 【交際ステータス】

あとからでも変更できます。

#### 【カバー写真】

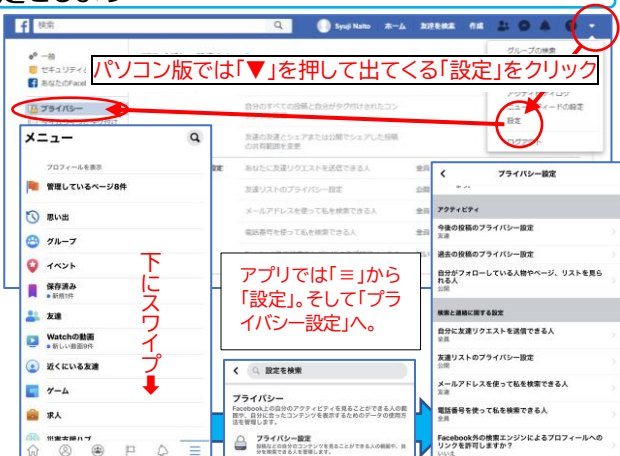
上のホーム画面だとFacebookが適当に表示したのになっていますが、自分で写真を選んで設定します。

出身地／学校／大学／会社／交際ステータスは記載しないことも可能です。その際は「スキップ」しましょう。

### 4 【重要】プライバシー設定をしよう

Facebookは掲載する投稿やプロフィールをどんな人まで見せることにするかを細かく設定できます。ここでは投稿の公開範囲とプロフィールの公開範囲の設定についてまとめます。

Facebookを本格的に使い始める前に設定することをおすすめします。



パソコン版では「▼」を押して出てくる「設定」をクリック

下にスクロール

アプリでは「≡」から「設定」。そして「プライバシー設定」へ。

## 【今後の投稿の共有範囲】

タイムラインに投稿した自分の投稿を誰まで見せるか設定します。

**公開**: インターネットを見るすべての人が閲覧できます。

**友達**: Facebook で「友達」になっている人のみ閲覧できます。

**次を除く友達**: 個別に指定することで「友達」のうち一部の人は閲覧できないようにします。

**自分のみ**: 自分以外は投稿を見ることができません。

※それぞれの投稿で、個別に共有範囲を変更することは可能です。

## 5 友達申請をしてみよう



検索窓につながりたい相手の名前を入力してみましょう。名前をクリックすると、相手のページでプロフィールを確認できます。パソコン版は【友達になる】、アプリは【**+**】をクリックすると「友達申請」を送ることができます。

Facebookには、単に個人として使う機能（ここでは単に「個人」とします。）のほかに「Facebookページ」「Facebookグループ」があります。

「個人」…友達申請をして「承諾」してもらうことで双方向のつながりをもてます。ここがTwitter と大きく異なる点です。こちらからつながりを求めるときには「友達申請」、相手からの「友達申請」について「承諾／削除」の対応をします。

「Facebookページ」…個人以外の企業・団体などが、企業名などで Facebook で発信するときには使うものです。「個人」は「ページ」を「いいね」することでつながりをもちます。

「Facebookグループ」…「個人」が集まってメンバー同士で交流するためのものです。

## 友達申請が来たら…

①右のようにプッシュ通知されます。赤いマークをクリックすると相手の名前が表示されます。

②相手の名前をクリックするとプロフィールを見ることができるので、実際の知り合いかどうかを判断して【承諾】または【削除】をします。

※実際の知り合いではない人からも友第申請が届くことがあります。個人情報を狙っている悪い人もいるので、注意が必要です。



## 6 Facebookページをいいねしよう

「Facebook ページ」への「いいね」は、自分のタイムラインにその「ページ」の

投稿を表示させるためのものです。Twitter の「フォロー」と同じ役割があります。

検索窓に入力してみましょう。ぜひ、道教組の Facebook ページを「いいね」してください！





# 15

## 教職員組合として Facebookページをはじめよう！

### Facebook ページを作ろう

21 ページで紹介した Facebook のユーザー登録は「個人」のものです。Facebook は個人で登録すべきユーザー登録を団体名で行うことを許していません。企業・組織や団体が Facebook を活用しようとする際には「Facebook ページ」を作成することになります。

#### 1 Facebookページをつくってみよう。

##### 【ページ作成画面へ】

パソコン版は、上の紺色バーの「作成」をクリックして「ページ」をクリック。アプリ版は「≡」をタップしメニューの「管理しているページ」をタップ。「+作成」を選択。

##### 【パソコン版のみ:ビジネスかコミュニティか選択】

パソコン版では右のような画面になります。右側の「コミュニティ…」を選ぶといいでしょう。スマホ版にはこの画面はありません。

##### 【ページのカテゴリを選ぶ】

パソコン版はページタイトルを入力し、カテゴリを入力して適当なものを選びます。アプリではまずカテゴリを入力する画面が出てきます。

##### 【アプリのみ:ウェブサイトを入力】

アプリでは、作ろうとしているページのウェブサイトのURL入力画面が出ます。スキップ可能です。

##### 【カバー写真・プロフィール写真を選択】

Facebook の個人のページと同様に写真フォルダから適当な写真を選びます。一般的に「ページ」ではタイトルロゴのようなものが重宝されます。

##### 【パソコン版】



##### 【アプリ版】



#### 2 これで完成です。細かい設定もあるけど、まずは発信してみよう！

メディアリテラシーに配慮するなどしながら、組織として発信してみましょう。

# 16

## Facebookグループに参加しよう！

### Facebookグループに参加しよう

Facebookには、「個人」が複数集って交流する「Facebookグループ」があります。「Facebookページ」がインターネットのホームページのように誰でも閲覧できるのに対して、「Facebookグループ」は設定によって閲覧できる人に制限をかけることができます。

※この設定の名称や範囲は、Facebookの仕様変更で変わることがあります。ここにまとめるのは2020年1月28日現在のものです。



#### ▶ プライバシー設定を選択

**プライベート**：グループ内のメンバーと、グループ内の投稿を見ることができるのは「グループに入っている人のみ」。

**公開**：グループ内のメンバーによる投稿、コメント、シェアなどは誰でも見ることが可能。

#### ▶ グループを非表示にする

**検索可能**：Facebookの検索窓や、検索サイトで検索可能。

**検索不可**：メンバーだけがFacebookの検索窓で検索することができます。

ヒント!



### 道教組のグループもあります！

道教組では2017年から「グループ」を作っています。上のグループ設定でいえば「プライベート・検索不可」に設定しています。そのため、外からの目が気にならないこともあり、各単組独自の取り組みの発信の場になっています。



2020年1月末現在で40人が参加しています。道教組に加盟する各単組に加入している先生なら参加可能です。QRコードを読み取ってぜひ参加してくださいね。



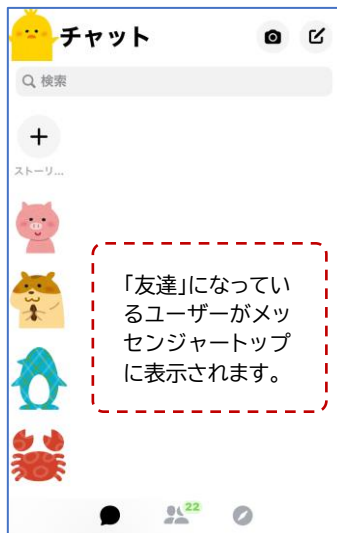
# 17 Facebookメッセンジャーを 活用しよう！

Facebook には、LINE やショートメールのように、Facebook ユーザー同士が会話できる「メッセンジャー」アプリがあります。ここではアプリ版での使い方を説明します。

## 1 基本的な使い方

基本的には Facebook で「友達」になっている人どうしが会話をするためのものです。スマホでは、「Facebook メッセンジャー」アプリをダウンロードする必要があります。



「友達」以外の方とも会話することは可能ですが、下にあるように「メッセンジャー」の仕組み上、送信したお相手の目に届かない可能性があります。下記 3 の方法で確認ができます。



## 2 友達申請とメッセンジャー

23 ページで友達申請について紹介しました。最近では「友達申請」をする際にはメッセンジャーで一言「はじめまして」のご挨拶をすることが多いです。現実の中でどのように出逢ったかなど自己紹介のメッセージを送るのが「友達申請」のマナーになっています。

## 3 「友達」以外のメッセージはどこに届く？

Facebook メッセンジャーの仕様上、「友達以外」のメッセージは「フィルター済みメッセージ」というフォルダーに届く場合があります。メールでいう「迷惑メール」の振り分けのようなものです。メッセンジャーアプリの「チャット」(トップ画面)の  をタップし、「メンバー」画面の  をタップすると見ることができます。



android



iPhone



メッセンジャーは1対1のほかに、複数人での会話もできます。



## TwitterとFacebookの特徴について

ここまで説明してきたFacebookとTwitterの特徴についてまとめます。それぞれのSNSを使いながら、「あれ、こういうのはどっちのSNSが得意なんだ!？」という際に見ていただくと、理解が深まるかと思います。

	Facebook	Twitter
登録の仕方	実名で登録する。 企業・団体は「ページ」で登録。	ニックネームで登録するのが基本。 (本名や団体名でも可能)
コンテンツの種類	・テキスト ・リンク ・画像 ・動画 ・LIVE配信	・テキスト(140字) ・リンク ・画像(4枚まで) ・動画(2分20秒まで) ・LIVE対応
投稿の基本	短文から長文まで可能。 ・ただ、写真付きの短い文章が好まれる。 ・連投は敬遠される。	基本は140字まで。 ・字数制限内に収めるには工夫が必要。
特徴	・Twitterほどのリアルタイム性は求められない。 ・まとまりのある簡潔な文章が好まれる。	・リアルタイム性 ・ハッシュタグを活用する。 ・フォロワーが増えると訴求力(発信力)が強まる。
つながり方	①「友達」申請をして「承認」してもらう。 ②企業や団体による「Facebookページ」を「いいね」する。	・気になる相手を「フォロー」する。 ・発信力のあるユーザー(専門家や有名人)とつながることで発信力が増す。
拡散力	実名登録により、閉鎖的なつながりが基本となる。そのため、ヘイトスピーチ的な対応になることは少ない。	・広く返事を書いたりすることができると、主義・主張の違いなどが鮮明に表れることがある。 ・一方で、拡散力が強い。関心層から無関心層まで広めることができる。
教職員組合での活用可能性は…	・組合に加入している方に登録してもらって、教職員組合の発信を見てもらう。 ・「グループ」機能を使って、組合に加入している方どうしをつなげる。	・教職員組合が世の中に訴えたいテーマについて発信することで、様々な立場の人とつながることができる。
共通していること	《プラス面》 ・テキスト、画像、動画などを用いた「リアルタイム・コミュニケーション」が可能になる。例えばテレビ会議ができる。チャットができる。 ・ホームページに比べて「情報拡散」がしやすい。 《マイナス面》 ・顔が見えない相手からのアクセスがある。 ・個人情報の取り扱いについて注意が必要。  ※団体での運用について、運用に関するルールやガイドラインの策定が必要。	

## 第3章 教職員組合の仲間が アプリでつながる可能性

---

もしも、  
「組合アプリ」で  
全国の仲間がつながったら・・・。

# 18

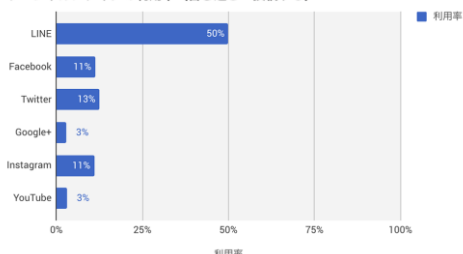
## 教職員組合が 独自にアプリを持つことの可能性

この冊子ではFacebookとTwitterだけ紹介していますが、SNSといわれるものには、ほかに「LINE」、  
「Google+」、「Instagram」があり、「Youtube」も含まれます。

最近は、「LINEグループを使って交流をしているよ」という実践例をよく聞くようになりました。リアルにつながる人たちがグループに

登録し合うことで、Facebookグループの例で示したような日常的な交流をするものとして注目されます。

ソーシャルメディアの利用率（書き込む・投稿する）



主なソーシャルメディアの利用率(経年)

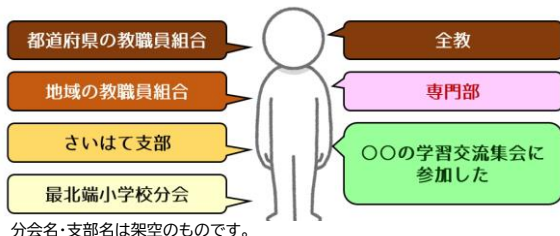
出典:総務省情報通信政策研究所  
「平成29年 情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査」

### 私たちは教職員組合で、「いろんな顔」で所属してるから…

教職員組合に加入するひとりの先生には、実に様々な顔があります。分会・支部・単組・道教組（県組織）・専門部のそれぞれの段階、そして全教です。さらに、「全国の学習交流集會に参加した」など

の経験がこれにプラスされます。こうしたつながりのひとつひとつに仲間がいるのは言うまでもありません。

・ひとりの先生には「さまざま」なつながりがあります。



分会名・支部名は架空のものです。

### ひとりじゃできない！だから相談したい！！

組合に加入するこのひとりの先生に何か役割が任されたとします。同年代の仲間がすぐそばにいたり、しっかり面倒を見てくれるリーダー的な先輩がいればいいですが、いつもそうとは限りません。

6ページで紹介した初めて分会長になった若い先生がこんなエピソードでは、近くで相談にのってあげられれば…と思ってしまうものです。だからこそ最近「L

「I N Eグループで交流をしている」などという例を聞くようになったのでしょうか。実際に連絡先を交換しあって日常的につながるツールとしては有効です。

## 組合アプリは、双方向性の動きをつくる。

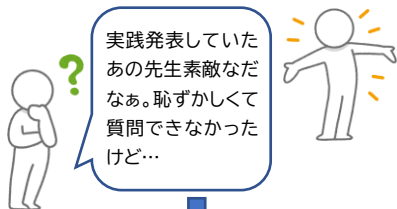
たとえば道教組から一斉メールを流すとします。各単組執行部が受け取り、その後の流れは様々なようです。分会や支部まで届く仕組みがある場合もあれば、各単組執行部止まりになっている場合もあるでしょう。一斉メールは各級段階で媒介する人が必要で、その判断や作業の手間によって、タイムラグが生じたりすることもあります。

一方で、図は、双方向性のやりとりのイメージです。【道教組⇄各単組】、【各単組⇄各支部】、【各支部⇄分会／本人】だけでなく、SNSを活用してブレインストーミング的にアイデアを出し合うなど、本来的には意思疎通を図りながら情報共有ができることが望ましい場面が道教組運動にはいくつもあります。



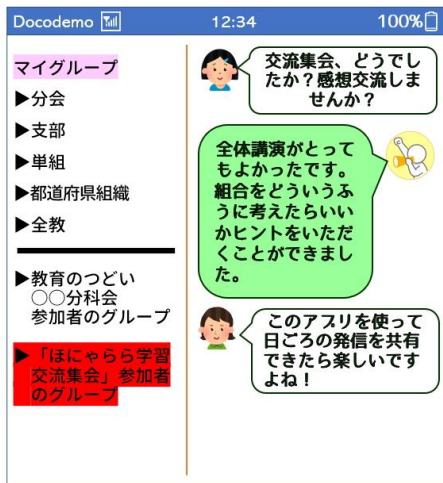
## つながりを強くしていくために…

たとえば、全国モノの学習交流集会に行ったとします。その際に全教の仲間である他の都府県の先生とつながりができて、そこから県組織を超えた全教のつながりを、アプリを通して日常的なものにすることができます。



**そうだ！  
組合アプリでつながってみよう！**

また、北海道のように距離的な問題でなかなか顔を合わせることが難しい場合には、日常の運動を激励し合ったり、アイデアを出し合う場として活用することも可能です。



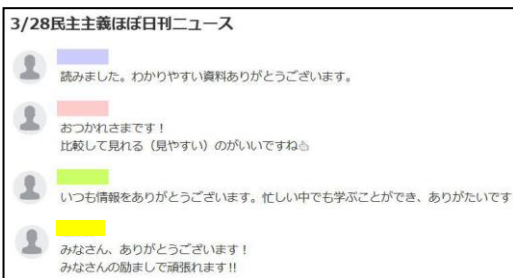
## 組合アプリのイメージは動画で！

組合アプリは、校務支援システムのようなものの組合版のようなイメージです。市町村によっては、すべての教職員や教育委員会職員を検索してダイレクトにメッセージやメールを送れる場合もあるでしょう。こうしたシステムと、SNSの良さを複合的にしてスマホアプリにしてみたらどうだろう…ということです。そのイメージを動画にまとめていますので、ぜひご覧ください！



### 組合アプリが「対話」を生み出し運動に活気が出る！

2019年3月から、宗谷教組では「組合アプリ」を試験的に導入し実証実験を行いました。その中で2019年4月の道知事選に向かう取り組みで、アプリが「対話」を生み出す瞬間がありました。選挙の情勢を「ほぼ日刊ニュース」としてアプリで発信し、アプリを通してニュースを見たら「読んだよって、なんでもいいからひとこと発信し」ということを取り決めにしました。普段は一斉メールで送信してもなかなか返事やリアクションが乏しいのですが、アプリという性格からか簡単な感想が語られることがありました。「組合アプリ」だから活気を生み出すことができました。



### 「いいね」が伸びない！



**ヒント!**  
教職員組合としてFacebookページを運用する最初の壁は「いいね」をしてもらうこと。たくさんの方に「いいね」をもらうことが拡散の力になります。

しかし、教職員組合としてFacebookページを運用していると、会議の際に先生方から「組合のページって『いいね』しにくいんだよね」という声をよく聞きます。理由はおそらく、自分のタイムラインに教職員組合の投稿が表示されることへの抵抗感です。

「映え」の論理のSNSでは、自分のタイムラインにどのような投稿が並ぶかを意識するも

のです。タイムラインとは、「コルクボードに自分のお気に入りの写真や付箋を貼り付けていくようなもの」なのかもしれません。教職員組合として発信していく際には組合の中では「Facebookグループ」を使って外からは見えない形で交流する方法があります。

また、対外的には「Facebookページ」のリンクをTwitterでツイートするという方法があります。たとえて言うと、機関紙を印刷して街頭宣伝で手渡しする感じです。こうして教職員組合の存在を地道に発信していくことは、運動が運動を呼び起こす糧になるものです。





## 第4章 おわりに…

どんなに  
デジタルが発展しても  
教職員組合は、「会って話す」を  
大事にしていくのだからと思いませんか？

# 19 | 受信したあとの「アナログ」なつながりを…

## SNS は、往復はがきのようなもの

30ページで双方向性の動きについて触れました。それは往復はがきのようなイメージです。ごくまれに、機関紙を発行すると読んだ感想などをいただくときがあります。紙面づくりについてヒントをもらったり、機関紙づくりの励みになったりもするものです。また、SNSは気軽に迅速に情報をひとりひとりの組合の仲間に届ける上では便利なアイテムです。



とある大規模分会のエピソードです。賃金確定交渉の結果を交流する分会会議を開いた時のこと。速報は支部宛で一斉メールとホームページにアップされます。

この分会では、スマホを持って集まり、ホームページのアドレスを入力して、ひとりひとりが自分のスマホで速報を見ながら、交渉の結果について学び合ったそうです。

こんなふうに、「SNSを使おう」というのは、「これまでの運動の流れを変えよう」というわけではないのです。『忙しい』とか『なかなか集まらなくて』という声に、教職員組合運動の側が遠慮したりがっかりするのではなく、そこを乗り越えて集うためのツールとしてSNSを活用したいということです。

## SNS を使いながら、アナログにつながりを強めていく

この冊子ではまるでみんながスマホを持っているかのように話を進めています。しかし、実際はそんなことはあり得ません。そこは教職員組合運動を進めていく上で大事にしなければなりません。共有したい情報に「上り」と「下り」があるとするれば、「上り」は教職員組合から組合に集う先生への発信。SNSや郵送などいろんな方法があってよいのではないのでしょうか。

大事なのは「下り」！それぞれの持ち場で語られたことが還流され、「私たちはこんなふうに話したよ、取り組んだよ」ということが還流されるという流れが大切になるでしょう。7ページで触れた教職員組合運動の「魅せ方」の工夫を含めた「見える化」につながる大事な視点です。

# 20

## SNSを片手に バトンゾーンをいっしょに走ろう！

### 老いも若きもみんながつながる教職員組合運動であるために…

組合づくりについて考える際に、教職員組合運動の「世代交代の難しさ」をよく聞きます。「バトンをわたす」ではなくて「テイクオーバーゾーンを広くとって、併走してほしい」という若い先生方の声があります。

一方で、この冊子でまとめてきたようなSNSの活用については、年代によって理解の深まりや親和性に差があるようにも感じられます。こうした世代間ギャップをどう埋めていくかが問われています。

ヒント!



ある単組で大ベテランの先生からこんな話をされました。  
「先生は、SNSをうまく活用してるけど、それって組織としてはどう考えるべきだと思う？」


ちょっと考えて、「組合の仲間にとって、SNS(組合アプリも含めて)は『実際に会うためのもの』と考えたらいいと思う」と話をしました。

この冊子で何度も書いてきた「教職員組合運動の基本は会って話すこと」だからです。例えば、この冊子の第2章のTwitterやFacebookの始め方を見たベテランの先生と、SNSを使いこなす若い先生が「SNS勉強会」などをしてスイーツとかを食べながら語り合うということもできるでしょう。そしてそこから、次の取り組みが生まれたら素敵ですよ。そんなふうな「集うきっかけ」になったらいいと思います。

### たくさんのおみなさんと集い合い、教職員組合運動を創ろう！

この冊子は、世代間のギャップがなくなり、共にこれからの時代の教職員組合運動について考え合うきっかけになることを願って作成しました。

私たちが、そしてこれまで組合をひっぱってきたみなさんが、共に「いいね」と感じてきた道理や教育条理を語り合い、これからの教職員組合運動に集う「仲間」が増えることを願っています。そして、その手法としてコミュニティ・オーガナイズングとそれに基づく運動の創り方を考え合ったり、SNSの活用についてたくさんのおみなさんと学び合ったり考え合ったりする機会が、全道・全国に広がることを願っています。



道教組・組合づくりリーフレット② **from us!**〔第2版〕

発行/全北海道教職員組合 〒060-0909 札幌市東区北9条東1丁目2-22 ☎011-742-0101

発行責任者/執行委員長 川村 安浩 発行日/2020年2月8日